

平成30年度第4回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 平成30年7月31日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 黒田 啓史，森 一樹，半場 江利子，松本 重雄，位高 光司，
山本 壯太，能見 伸八郎，木村 晴恵
監 事 長谷川 佐喜男，中島 俊則
事務局 阿部経営企画局次長，長谷川担当部長，大島担当副部長，榎木担当副部長，
濱口経営企画課長，石田総務担当課長，桑原管理PFI担当課長，北川京北
病院事務長

1 開会

2 議事

(1) 29年度実績，第2期中期実績の評価結果及び第3期中期目標（案）について

資料1，資料2，資料3に基づき，阿部経営企画局次長から説明

- 京北病院の機能強化の検討を行うと記載されているが，具体的な内容を教えてほしい。
→ 在宅，訪問診療及び訪問看護について，更に充実を図っていく。
- 公的病院として政策医療を担っていただきたいが，特に救急医療について，地域の方が求めるニーズに応えられるように取り組んでいただきたい。
- 高齢化社会に伴い，在宅医療のニーズが高まっている。退院支援等，地域医療連携室の役割が重要であり，連携室の役割をもっとアピールしていただきたい。
- 地域の要望と法人の進むべき方向のずれがないように取組をお願いする。また，医療と介護の連携について，強く打ち出されており，患者の接遇面において，市立病院，京北病院共に事務的にならないようにしていただきたい。
→ 京北病院には医療政策監を配置し，地域の要望を取り入れた取組を開始している。市立病院においても地域との情報連携を実施し，例えば退院支援ナースを配置するなど在宅療養患者への支援等に取り組んでいる。
- 働き方改革への対応について，具体的な取組内容を教えてほしい。
→ 全職員の時間外勤務や年休取得率の増加に向けて更に取り組んでいく。そのような中，効率性が発揮できる環境を整えていくが，効率性を上げるだけでなく，質の低下につながらないことにも留意していく。

(2) 月次収支（5月まで）報告

資料4に基づき，阿部経営企画局次長から説明

- 4月と5月とを比較すると，連休があるにも関わらず5月の稼働が良い。理由はあるのか。
→ これまでから4月は一時的に稼働が低くなる傾向がある。

(3) 経営状況月次（6月分）報告

資料5に基づき，阿部経営企画局次長から説明

- 猛暑の影響はあったのか。
→ 熱中症患者が増加し，猛暑の影響で休日の救急車搬入が増加している。
- 京北病院の稼働率が低い理由はあるのか。

→ 前年度と比較し、稼働率は少し上向いてきているが、更なる新入院患者の獲得等の取組を進めていく。

(4) 京都市立病院整備運営事業の現状

資料6に基づき、長谷川事務局管理担当部長から説明

○ 整備運営事業における深刻な課題を教えてください。

→ 診療報酬の算定等の改善に向けて担当者を交えた業務改善会議等で議論を行っている。

(6) その他

特になし

3 閉会